

平成26年における国内のクロマグロ養殖実績について(速報値)

水産庁は、平成26年における国内のクロマグロ養殖業者の養殖実績を取りまとめました。

1.背景・趣旨

農林水産省は、我が国が太平洋クロマグロの最大の漁業国かつ消費国であることを踏まえ、太平洋クロマグロの管理について取り組むべき基本的な方向性を記した「太平洋クロマグロの管理強化についての対応」(平成22年5月11日農林水産省発表プレスリリース)に基づき、国内におけるクロマグロ養殖の実態を正確に把握するため、全国のクロマグロ養殖業者から報告のあった養殖実績について、暦年ごとに取りまとめ、平成23年から毎年この時期に公表することとしています。

なお、農林水産省は、クロマグロ養殖場について、原則として、(1)各県の1年当たりの天然種苗の活込尾数が平成23年から増加するような養殖漁場の新たな設定を行わないこと、(2)生け簀の規模拡大により各県の1年当たりの天然種苗の活込尾数が平成23年から増加することのないよう、漁業権に生け簀の台数等に係る制限又は条件を付けることについて、漁業法の規定に基づく農林水産大臣の指示を、平成24年10月26日付け農林水産省指令24水管第1698号で都道府県に対し発出しています。

2.結果

平成26年クロマグロ養殖を営む経営体の数は95で、平成25年の92に比べ3経営体、平成23年の83に比べて12経営体増加しました。また、平成26年の養殖場の数は150で、平成25年の147に比べて3養殖場、平成23年の137に比べて13養殖場増加しました。ただし、この養殖場の増加は、人工種苗を用いる養殖場の増と養殖場の統廃合等による減の結果であり、天然種苗の活込尾数を増加させるものではありませんでした。

平成26年のクロマグロ養殖種苗の活込尾数は51万9千尾で、平成25年の61万1千尾に比べて9万2千尾、平成23年の75万3千尾に比べて23万4千尾下回りました。活込尾数が変動しているのは、天然種苗の漁模様の変動が主要因と考えられます。

なお、平成24年10月26日付けの農林水産大臣の指示を受けて、36の養殖場の免許は、人工種苗のみを活け込むよう制限されています。また、残りの114の養殖場の免許は、天然種苗を活け込む生け簀の台数等について上限が付されています(平成26年12月末現在)。

(1)クロマグロ養殖を行っている経営体の数(各年の末日における数)

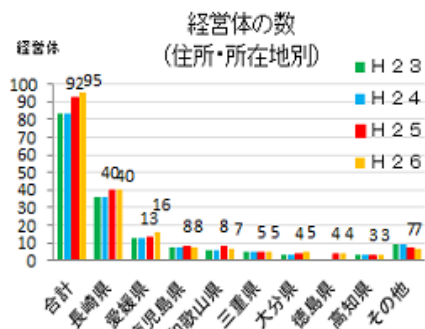
(ア)経営体の数(住所・所在地別)

全国計:95経営体(平成26年)

92経営体(平成25年)

83経営体(平成24年)

83経営体(平成23年)



注1: 個人にあっては住所、法人にあっては本社の住所により計上

注2: その他は、東京都、島根県、山口県、佐賀県、熊本県

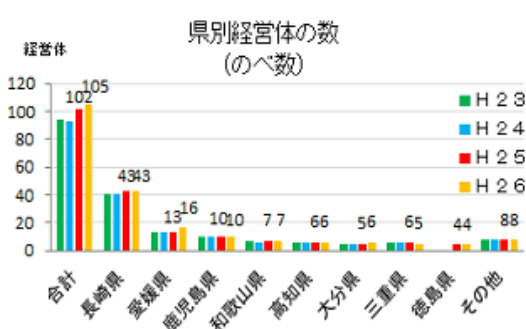
(イ)県別経営体の数(のべ数)

全国計:105経営体(平成26年)

102経営体(平成25年)

93経営体(平成24年)

94経営体(平成23年)



注1: 府県内にクロマグロ養殖場を有する経営体数を計上

注2: 1養殖業者が複数の府県で養殖を行っている場合はそれぞれの府県で重複して計上

注3: その他は、京都府、島根県、山口県、佐賀県、熊本県、宮崎県、沖縄県

(2)クロマグロ養殖場及び養殖生簀の数

(ア)養殖場の数(各年の末日における数)

全国計:150養殖場(平成26年)

(イ)養殖生簀の数(暦年集計)

全国計:1,375台(平成26年)

147養殖場(平成25年)

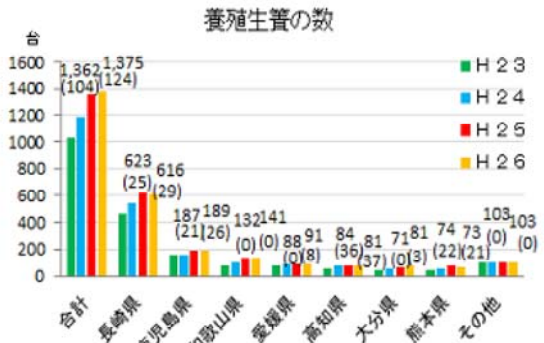
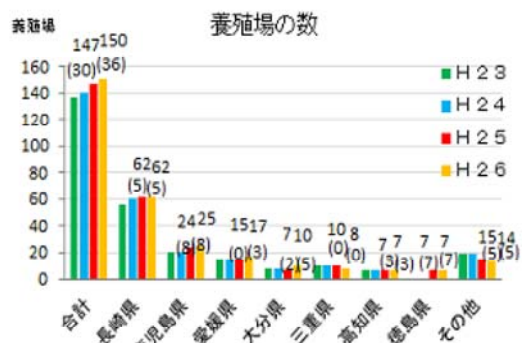
140養殖場(平成24年)

137養殖場(平成23年)

1,362台(平成25年)

1,191台(平成24年)

1,032台(平成23年)



注1: その他とは、京都府、和歌山県、島根県、山口県、佐賀県、熊本県、宮崎県、沖縄県
注2: 「H23」、「H24」、「H25」、「H26」の数値は、それぞれの年の末日のもの
注3: () は、人工種苗のみを活け込むよう制限された養殖場の数
注1: その他とは、三重県、京都府、島根県、山口県、佐賀県、宮崎県、沖縄県
注2: 施設の規格は、円形、楕円形、正方形、長方形、正六角形、八角形であり、同一ではない
注3: 「H23」、「H24」、「H25」、「H26」の数値は、それぞれの年の1月～12月に設置された養殖生簀の総数
注4: () は、人工種苗のみを活け込むよう制限された養殖生簀の数

(3)クロマグロ種苗活込尾数(暦年集計)

(注) 活け込んだ種苗は、数年の養殖期間を経た後に出荷されます。

全国計:519千尾(平成26年)

611千尾(平成25年)

473千尾(平成24年)

753千尾(平成23年)

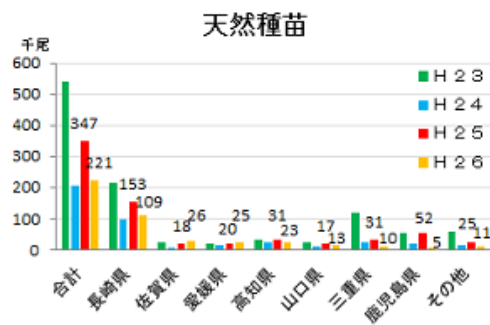
(ア)うち天然種苗

全国計:221千尾(平成26年)

347千尾(平成25年)

205千尾(平成24年)

539千尾(平成23年)



注1: その他とは、京都府、和歌山県、大分県、宮崎県、沖縄県
注2: 「H26」合計値の採捕方法別内訳は、曳き縄67.9千尾、旋網153.5千尾

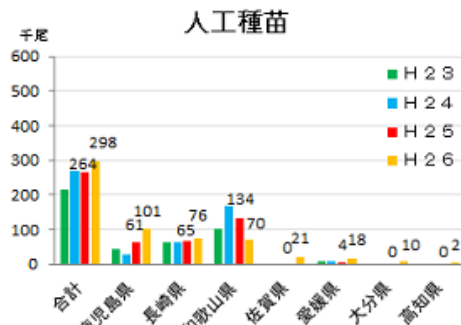
(イ)うち人工種苗

全国計:298千尾(平成26年)

264千尾(平成25年)

268千尾(平成24年)

214千尾(平成23年)



注: 人工種苗については陸上施設で種苗生産され、海面の養殖場に初めて活け込まれた数であり、養殖用種苗として取引される前に海面の養殖場で死亡するものを含む

(4)養殖クロマグロ出荷数量(暦年集計)

(ア)出荷尾数

全国計:230千尾(平成26年)

全国計:14,713t(平成26年)

197千尾(平成25年)

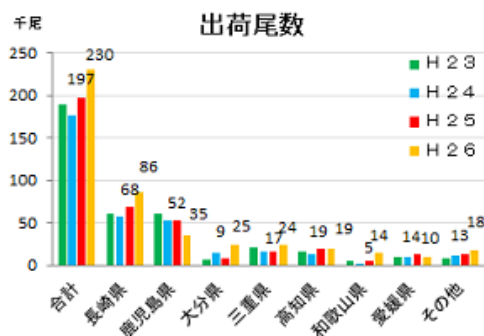
177千尾(平成24年)

190千尾(平成23年)

10,396t(平成25年)

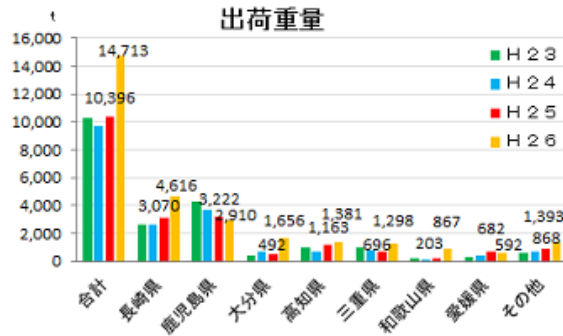
9,639t(平成24年)

10,224t(平成23年)



注1: その他とは、京都府、山口県、熊本県、沖縄県、宮崎県

注2: 「H26」合計値の内訳は、天然種苗由来219.2千尾、人工種苗由来11.0千尾



注1: その他とは、京都府、山口県、熊本県、沖縄県、宮崎県

注2: 「H26」合計値の内訳は、天然種苗由来14,326t、人工種苗由来387t

(5)クロマグロ種苗採捕に関わった漁船の数(暦年集計)

全国計:1.5千隻(平成26年)

1.5千隻(平成25年)

1.9千隻(平成24年)

2.3千隻(平成23年)

3.平成25年実績の確定

平成26年3月31日付けで公表している「平成25年における国内のクロマグロ養殖実績について」は、内容精査を行い数値を確定しました。

参考

平成22年5月11日付けプレスリリース

「太平洋クロマグロの管理強化についての対応」について

http://www.jfa.maff.go.jp/j/kokusai/kanri_kyouka/index.html

平成26年3月31日付けプレスリリース

平成25年における国内のクロマグロ養殖実績について(速報値)

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/saibai/140331.html>

— お問い合わせ先 —

増殖推進部栽培養殖課

担当者: 今井、津山(クロマグロ養殖について)

代表: 03-3502-8111(内線6821)

ダイヤルイン: 03-3502-0895

FAX: 03-6744-2386

資源管理部漁業調整課

担当者: 永田、古園(クロマグロ資源管理について)

代表: 03-3502-8111(内線6701)

ダイヤルイン: 03-3502-8476

FAX: 03-3595-7332